

災害時協力協定締結式

災害時に関する協定書締結式が2月20日、役場で行われ、澤村和明村長が東北電力郡山営業所・石川地方環境クリーン協業組合と協定書を締結しました。

この協定は、大規模な災害発生時、電力の復旧や物資の輸送などで双方が協力する内容になっています。

澤村村長は「村民の安全を守るためには、自治体だけでは限界がある。災害時を想定して協定を締結し、平常時にこそしっかりとした準備をしたい。今後ともご協力をお願いしたい。」とあいさつを述べました。



石川地方環境クリーン協業組合の佐々木義人代表理事（写真左）



東北電力郡山営業所の後藤宏所長（写真左）

平田村地域包括支援センター運営協議会委員の委嘱

平田村地域包括支援センター運営協議会委員の委嘱状交付式が2月14日、役場で開催されました。

交付式では、委嘱状が澤村和明村長から各委員に手渡されました。引き続き第1回運営協議会が行われ、各委員から地域包括支援センターの活動について活発な意見が出されました。今後は、高齢者になっても住み慣れた平田村で住み続けるために必要な、地域包括ケアシステムの構築についても協議する予定です。

委嘱された方は、次のとおりです。（敬称略）

会長 水野 正美（第2号被保険者代表）
副会長 矢吹 健（第1号被保険者代表）
委員 佐々木太郎（ひらた中央クリニック院長）
委員 澤村 秋彦（歯科医代表）
委員 坪井 秋子（特別養護老人ホームよもぎ荘）
委員 猪狩 昭二（平田村デイサービスセンター）
委員 澤村 圭子（居宅支援事業所よつば・ひらた）
委員 根本 恵子（平田村在宅介護支援センター）
委員 荻野フミエ（サービス利用者）
委員 荒川 勝吉（行政区長会長）



平田村高齢者保健福祉計画等進行管理協議会委員の委嘱

平田村高齢者保健福祉計画等進行管理協議会委員の委嘱状交付式が2月6日、役場で開催されました。

交付式では、委嘱状が澤村和明村長から各委員に手渡されました。引き続き第1回平田村高齢者福祉計画等進行管理協議会が行われ、会長に荒川勝吉さん、副会長に上遠野泰基さんが選出されました。

委嘱された方は、次のとおりです。（敬称略）

会長 荒川 勝吉
副会長（行政区長会長・平田村健康づくり協議会長） 上遠野泰基（平田村民生児童委員会会長）
委員 吉田 運吉（平田村心配ごと相談員会長）
委員 澤村 秋彦（保険医代表）
委員 佐藤 英夫（ひらた中央病院事務長）
委員 芳賀 豊治（平田村老人クラブ連合会会長）
委員 木本セキ子（平田村老人クラブ連合会副会長）
委員 鈴木 榮（国保運営協議会長）
委員 坪井 秋子（特別養護老人ホームよもぎ荘事務長）
委員 関根 寛（平田村社会福祉協議会事務局長）



むらの話題 hirata

地域の行事や話題、できごとを掲載します。
総務課政策情報係までお知らせください。
(055-3111)

特別敬老祝金贈呈 鈴木福松さん（東山） 95歳

大正11年2月15日生

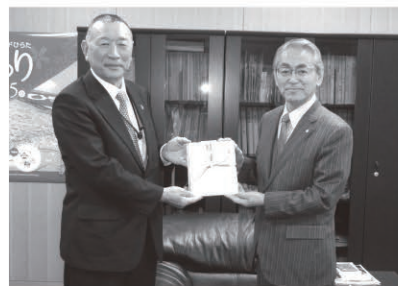


【鈴木福松さんの元気の秘訣】
豪華な食事をせずに適度な食事を日に三回
しっかり食べること

むらの話題 ①

夢みなみ農業協同組合から LED防犯灯が寄贈

夢みなみ農業協同組合の岡部喜市郎代表理事専務（写真左）が2月7日に役場を訪れ、LED防犯灯30基を寄贈されました。澤村和明村長は、行政区要望箇所を中心に設置して防犯対策に努めたいと御礼の言葉を伝えました。

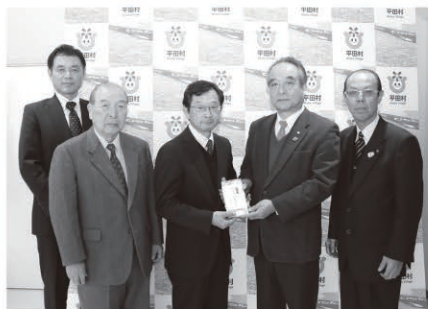


むらの話題 ②

石川ロータリークラブから ひらた清風中学校へ寄贈

石川ロータリークラブの菅野欣吾会長（写真右から2人目）が2月14日に役場を訪れ、ひらた清風中学校に図書カード（10万円分）を寄附されました。統合された中学校の図書の充実を図り、読書の楽しさや次代を担う子どもたちの知識向上に役立てて欲しいという目的で贈られました。

有賀真道校長は、今後、学校図書館充実のため新たな図書の購入を進めていきたいと御礼の言葉を伝えました。



むらの話題 ③

第6回石川コン 「歴史の街・石川で ランチに恋しよう」

石川地方5町村が連携して行う婚活イベントが2月4日、松多屋で開催され、男性67人、女性45人が参加しました。当日は、「美しい環境でイベントを楽しみながら友達やパートナーを見つけよう」をテーマに、ふくしまボンガーズがサポーターを務め、パーティータイムを通して交流を深めました。イベントの最後には、参加者からカップリングカードが提出され、14組のカップルが誕生しました。



むらの話題 ④

担い手講座

地域住民がお互いを支援する「支え合い担い手養成講座」が2月6日、保健センターで開催されました。講師に招かれた福島大学の鈴木典夫教授が「OSと言える地域づくり」と題して講演を行いました。鈴木教授は講演の中で、地域福祉活動は孤立防止につながり、地域の中でお互い「したいこと」「してもらいたいこと」を話し合うことが大切であると語られました。講演には68人が参加し熱心に聞き入っていました。

